

令和7年笛吹市議会第3回定例会の告示に伴う
記者会見質疑応答（要約）

■記者

職員の給与、旅費などの条例改正は、国家公務員法や地方公務員法に準じた改正と思われるのですが、笛吹市独自の改正はありますか。

■市長

笛吹市独自の改正はありません。
東京など宿泊費はものすごく高騰しており、現在の規定では宿泊費が不足している状況です。

■総務課長

国の改正に準じた条例改正になります。
今回の改正は、最近のデジタル化及びパック旅行などにも対応した改正となり、10月1日付で施行となります。

■記者

職員の方は持ち出し分があると結構大変だと思います。
そこは何か手を打っても良いと思いますが、どうでしょうか。

■市長

職員は主に日帰り出張です。
今回は、全国的に条例改正を行っていると思います。

■記者

補正予算のふるさと納税事業で、寄附額対前年度比 147.9%となっていますが、どうしてこれぐらい増えていくと見込んだのか、また近年増加傾向にあるのか、どういうふう to 増えているのか教えてください。

■市長

笛吹市はふるさと納税への取組が少し遅れていたため、色々頑張って、ずっと上り調子できました。
当初は事務要領が全然わからなかったため、自前ですべて事務処理を行ってきたが、今は中間事業者を入れています。
一度中間事業者を変更した際に、寄附の受け付けをしなかった期間があり、今まで寄附をしていただいた方々が離れていきました。
そういうことがあり、2年ほど足踏み状態でした。
何か秘策があったとか、返礼品に人気が出たとかではなく、基本的に以前シャインマスカットや桃などへ寄附いただいていた方々が戻ってきたという感じです。
ただ色々な取組も行っています。

特段何かあるわけではありません。

■記者

今回の見込みは過去最高の寄附額ですか。

■市長

今回 49 億円になれば過去最高の寄附額です。

■記者

現時点の寄附額を教えてください。

■市長

16 億円です。前年度と比べて 6 億円多いです。

前年度寄附額は 37 億円で、今の調子でいけば 12 億くらい増え、年間 49 億円と見込み、返礼品などに係る必要経費を補正しました。

■記者

今、山梨県の桃生産量が福島県に追いつかれるという話も出ていますが、市として桃の生産量が減少している実感はありますか。また現状を把握していますか。

■市長

把握しています。耕作放棄地も十分承知しています。

桃からシャインマスカットへの改植、また後継者がなく農家を辞め、耕作放棄地になったことも減少の原因かもしれません。

本市だけではなく、全体的に桃がシャインマスカットに押されていますが、桃の生産量が大幅に落ちているというわけではありません。

桃農家さんは一生懸命頑張っています。

今まで桃だけを栽培していた方が、一部を別の作物に替えることで、収穫時期をずらし、人手を使わず一人ですべての作業を完結できる。そういうことも一因と考えられます。

福島県の市長さん方との会議の中でも、せん孔細菌病で非常に苦しんで、福島県の桃の生産量も減少していると聞きました。

報道された数字の出所はわかりませんが、生産量の差が縮まってきたということがあるなら、暑さに強い品種に切り替わったとか、シャインマスカットへ切り替わったのかもしれない。

■記者

昨日石和温泉花火大会もありましたが、夏場のゲリラ豪雨等の恐怖もあり、全国的に花火大会の時期をずらす考えもあるようですが、笛吹市はどのように考えていますか。

■市長

花火は夏に見るのが良いかなと思っています。

冬花火、クリスマス花火も開催しましたが、非常に寒く人出が少ない状況でした。

昨日は 5 万人くらいお越しいただきました。

浴衣を着た若い人たちが足を運んでくれ、元気がよくて活気があります。
秋は川中島合戦などイベントもありますので、花火は夏に開催したいと思います。

以上